

【管理運営状況公表様式】

令和元年度 青森県立郷土館の管理運営状況

県所管課	教育庁文化財保護課
指定管理者	TTHAグループ 代表 株式会社東奥日報社 代表取締役 河田 喜照
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
施設、設備等の維持管理に関する業務	施設を清潔に保ち、利用者に安全で快適な環境を提供するため、施設内外の清掃や冬期間の除雪、各種設備等の運転及び保守に関する業務、警備業務を実施した。
施設の使用許可及び使用料の徴収等に関する業務	青森県立郷土館条例等の規定に則り、利用者からの使用料の徴収やホール利用許可に関する業務を実施した。
郷土館の管理に関し必要な業務	施設の利用促進を図り、郷土館だよりや郷土館案内リーフレットの作成、展示会に関する広報などの業務、解説員による展示資料の解説に関する業務及びホールでの県直営以外の展示業務を実施した。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
入館者数（人）	H29	60,000	23,293	38.8%	70.9%
	H30	60,000	27,924	46.5%	119.9%
	R1	60,000	18,740	31.2%	67.1%
	平均	60,000	28,018	46.7%	
	H28(参考)	60,000	32,838	54.7%	71.1%

【増減理由】

令和元年度においては、高校生と協力しての大型クルーズ船観光客へのPRやTTHAグループ特別展での常設展相互割引など、誘客に向けての取組等を実施したものの、指定管理者自主事業「倉本聰の仕事と点描画展」では、様々PRに取り組んだが結果として集客が伸びず、目標に対して31.2%の入館者数に留まった。

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	4	3	職員のマナーや資質向上のための研修の計画的な実施や外国人来館者対応など、様々な利用者に向けた、利用者サービス向上に努めている。アンケート結果においても職員の対応への満足度が比較的高く評価されている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	新聞掲載やテレビ放送等によるPRを積極的に行ったほか、高校生と協力インバウンド受入れを図るなど、多様な広報活動を展開した。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	2	清掃、警備等の業務仕様書に則り、施設設備等の維持管理に関する業務を行っていたが、一部の設備の保全について、十分でない面があった。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	避難訓練やAED講習の実施など、施設利用者の安全確保対策に取り組んでいる。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	2	3	成果目標の達成には至らなかったが、省エネ対策として、白熱灯をLED電球に積極的に行うなど、経費節減に努めている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	2	2	入館者数の増加を図るため、自主事業の実施や、グループの特徴を活かした各種媒体による広報活動を展開したが、目標の達成には至らなかった。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	労働法令を遵守するとともに、職員に対する個人情報保護に関する研修の実施や個人情報の漏洩を防止するための体制を確立するなど、法令の遵守に努めている。
総合評価	3	3	利用指標である入館者数は当初の計画を下回る結果となったが、様々な広報活動の実施など利用促進に向けた努力は払われていた。また、一部の設備の保全について検査が未実施であったことが判明したことから、再発防止について検討する必要があるが、その他は計画どおり維持管理されており、総合的に業務水準書等の内容が満たされていると評価する。

○評価基準

- 5 (秀) : 業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。
- 4 (優) : 業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。
- 3 (良) : 業務水準書等の内容が満たされている。
- 2 (可) : 業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。
- 1 (不可) : 業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。